



青木 正彦 議員

健康のまちづくりを推進する取り組みは 健康増進計画を策定し、 各種の取り組みを推進



桜並木と水辺ウォーキングコース

問 「健康寿命」という言葉があります。他人の助けを借りないで、自立して日常生活を送れる状態をいいますが、平成22年度厚生省の推計によると、日本人の健康寿命は、男性70・42歳、女性73・62歳です。超高齢社会の今日、地域の活力を維持するうえでも健康寿命を延ばす取り組みを、まちづくりの中にしっかりと位置づける必要があります。町の取り組みはどうか、また運動を生活習慣化するための環境整備について伺います。

町長 国、県の国民健康づくりプランに準拠して「五霞町健康増進計画」を策定、推進しています。その中身は、「栄養・医療」「運動・身体活動」「休養・心の健康」の3本柱に「保健・医療」を加え、健康増進を図ることとしています。この取り組みは、医療、介護の費用の縮減にもつながりますから、様々な健康教室開催やシルバリーハビリ体操指導士の養成など積極的に取り組んでいるところです。

健康福祉課長 個人のニーズやライフスタイルに合った健康づくり事業が求められています。そういう中で、生活習慣病予防に着目した事業、例えば食生活改善、生きがいや趣味の活動を通じて心の健康を保つ事業、また検診率の向上なども含め、いろいろと展開しています。

ウォーキング、ジョギング、サイクリングなどに親しめる環境づくりにて「いばらきヘルスロード」を指定、五霞町では「桜並木と水辺ウォーキングコース」として童夢公園から舟渡橋まで全長3キロコース、「こぶしの花コース」として道の

問 公有地・施設の有効な活用について 答 実情に即した利・活用の対策を進める

駅から中の島公園まで全長5キロの二つのコースが指定されています。川妻から江川までの堤防を

遊歩道として利用できるよう整備もされています。しかし、まだ認知度が低い面もあることから、今後、周知活動に努

めるとともに、町民ウォーキング大会についても実施していく予定です。

問 公有地・施設の現状と対応策について伺いたいします。

原宿台2丁目木下住宅団地内テニスコート及び集会所について

財務課長 原宿台2丁目のテニスコートは、平成7年から現在まで閉鎖状況です。この間、住民の意向についてアンケート調査を実施しましたが、テニス、駐車場、公園、防災倉庫などに意見が分かれ住民との話し合いでも調整がつかないまま現在に至っています。集会所については、利用は年2件とか1件という状況です。

町長 テニスコート、集会所については近隣住民の合意が不可欠です。再度、意見を収集するなどして、合意形成に努めます。

問 中央公民館前の雑種地にある残土・ガレキ置き場について

町長 公共事業にとつての必要性和ともに、災害時におけるストックヤードとして予定をしております。

問 総合運動公園予定地について

町長 有効な利活用の検討については、先般、職員によるワーキングチームを設置しましたが、議会との協議、地元の方々の理解を図りながら検討を進めたいと考えます。なお、国交省サイドから、五霞ICに係る建設発生土の仮置き場として、平成25年度から2年間借用したいとの申し出があり、協力したいと考えています。



原宿台地内のテニスコート